

桂陽生が考える活性化

～課題研究発表から～

③

【公共交通機関】

私たちのグループは、政策部として「どこバス」について調べました。

(スクリーン映像)

「政策部は、どのようなのですか」

「簡単に言うと、網走の公共交通について研究している部です」

「パソコン室をつか

って活動していると聞いたのですが、何をしているんですか」

「網走バスや公共交通について調べています」

「新しく見つけたことはありますか」

「網走バスの利用率が少ないことと、どこバスというバスを見つけた」

(別のスクリーン映像)

像

「学校外でも活動していたのですが、どんなことをしていたのですか」

「バス会社や市役所に行つて、情報を提供してもらいました」

どこバスとは、AIが搭載された電話・アプリ予約制のバスで、



どこバスの乗り方



どこでもおでかけバスから「どこバス」と名付けてくれました。網走市商工労働課が事業主体で、網走バスが運行

業者として運行される。簡単にまとめると、予約すると乗車したいバス停にバスが来るのは、2000年には輸

送人員が185万人だったのが、18年には80万人まで減ってしまいました。

19年に全路線全便の乗降調査を実施したところ、1日の運行数は平日で152便、お客

様は2104名で、1台平均14名、土日は110便で932人、1台平均8名でした。

大型のバスじゃなくてもよかったケースが多数で、このまちに合った公共交通のかたちに変換していかねければなりません。

どこバスの電話予約は、乗降場所と人数を伝え、到着予定時刻を聞きます。乗りたいバ

ス停で乗る際には、予約番号を言ってから乗車します。アプリ予約は、スマートフォンアプリに人数を入力して予約を確定すると、予約番号が発出されます。

運行エリアは潮見駒場、つくしヶ丘、鱒浦地区で、これまでの利用状況は昨年8月で156人、9月で223人でした。利用者の声は「自宅近くにバス停ができて便利」「車がいない農大生には便利」

「タクシーに比べ運賃が安くうれしい」などでした。網走市商工労働課の行った市民アンケート

で、「将来、運転が困難になった場合の移動手段」は、バスが62%で、タクシーが25%、家族の送迎が13%でした。また、予約バスについては「良いと思う」が50%、「困る」が30%、「わからない」が20%でした。

この結果から、どこバスにはみんなプラスの意見なこと、需要が増えて将来的に必要なことが分かり、もつとどこバスの認知を高めたいと思いました。どこバスは、網走に合った公共交通です。ご清聴、ありがとうございました。